

## 所長あいさつ

平成から令和の時代へ。この節目に、教育をめぐる環境も大きな変化の時を迎えています。社会のグローバル化やA I 導入が急速に進む中で、学校には、新学習指導要領の実施に向けて、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校からの外国語教育、I C T活用、発達障がいを含む特別な支援を必要とする児童生徒への対応、そして「チームとしての学校」など、新たな推進項目が示されました。また、人口減少問題に直面する本県においては、地域の将来を担う人材の育成が重要な課題であり、教育には大きな期待が寄せられています。

社会の変化や時代のニーズに応え、学校の教育力・組織力を向上させるためには、一人一人の教職員の、職務やキャリアに応じた資質能力の向上が不可欠です。島根県教育委員会は平成30年2月に「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針 ～学び続ける教育職員を目指して～」を策定し、キャリアステージと職に応じた育成指標を示しました。島根県教育委員会が実施する教職員研修は、この育成指標をふまえ、島根県の教職員に求められる資質・能力の育成に資するよう、プログラムの改善を進めております。

「島根の教育」を担う教職員や学校、家庭、地域の支援こそが島根県教育センター、浜田教育センターの使命であります。今年度も、「**学び続ける教職員の育成と校内のOJTを支援する教育センター**」を基本姿勢（スローガン）に、以下の方針によって運営して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

- (1) 島根県教職員研修計画の研修体系に基づいた計画的かつ継続的な研修を行うとともに教育庁各課・教育事務所等との連携を進め、研修と指導・支援の一体化を図りながら教職員の資質・能力の向上を図る。
- (2) 各種調査を分析し捉えた本県の教育課題に対して、学校現場で役立つ情報や提言を積極的に発信する。
- (3) 国の教育改革の動向等に関する積極的な情報収集・提供に努めるとともにそれを踏まえた調査・研究を進める。
- (4) 教育相談の充実を図り、児童生徒等の自己実現や社会的自立への支援を行う。
- (5) 校内研修の活性化のため、直接学校に出向き、教職員に対して積極的に支援を行う。
- (6) 市町村教育委員会や県内大学、近隣県との連携を推進し、研修の充実を図る。

平成31年4月

島根県教育センター所長  
〃 浜田教育センター長  
福間 俊行